



◆トピックス

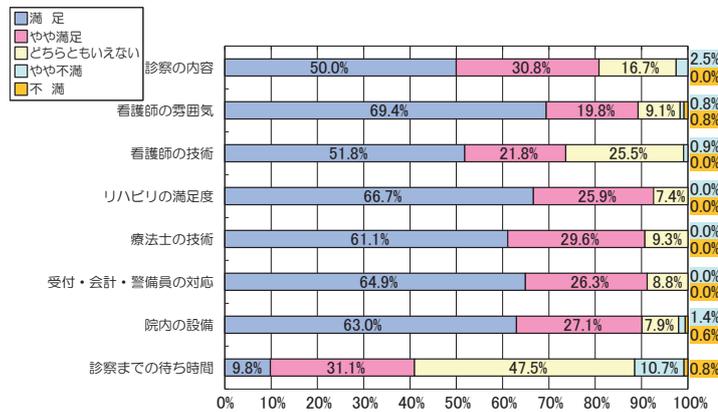
平成28年度とちぎリハビリテーションセンター利用者満足度調査結果



とちぎリハビリテーションセンターでは、よりよいサービスの提供を目指して、御意見箱の設置等により、日頃から皆様の御意見・御感想をいただき、センター運営の参考とさせていただきます。

本調査は、その一環として、病院部門の運営改善や職員の意識改善の参考とするため、毎年度実施しており、平成29年1月に外来患者123名、入院患者39名の方に御協力をいただいたアンケートの集計結果の概要を報告いたします。(数値は5点満点の平均得点)

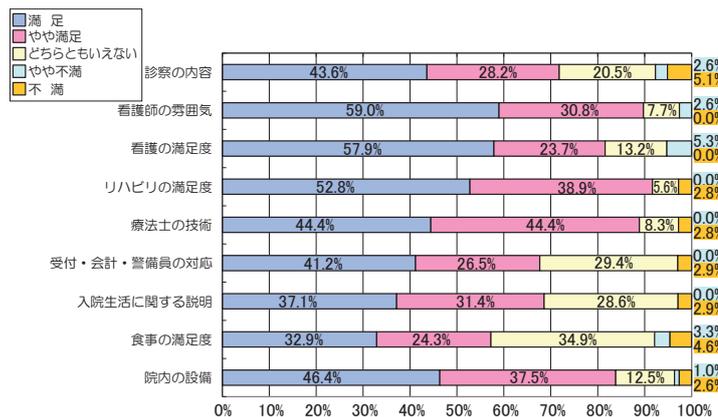
【①外来患者のサービス満足度】



質問20項目のうち19項目が4.0点以上でした。全体の平均では4.4点と、昨年度の4.2点を0.2ポイント上回りました。大項目で見ると、【リハビリの満足度】【受付・会計・警備員の対応】【療法士の技術】【院内の設備】で、9割を超える方から「満足・やや満足」との評価をいただきました。

一方、【診察までの待ち時間】で、「満足・やや満足」の評価は4割程度でした。多くの患者さんが受診されているため、待ち時間の短縮を図ることは難しいところですが、今後とも、待合室にいらっしゃる患者さんに順番の声かけをするなど、待ち時間を少しでも快適に過ごしていただけるような対応を心がけて参ります。

【②入院患者のサービス満足度】



質問30項目のうち26項目が4.0点以上でした。全体の平均では4.1点と、昨年度の4.2点を0.1ポイント下回る結果でした。大項目で見ると、【リハビリの満足度】【看護師の雰囲気】【療法士の技術】が、9割程度の方から「満足・やや満足」の評価をいただいています。

一方、【食事の満足度】については、「満足・やや満足」の評価は6割弱でした。食事については、嗜好に関する調査を独自に実施するなど、皆様に御満足いただける食事を提供できるよう改善に努めております。

お忙しいところアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。御意見等は真摯に受け止め、十分検討し、今後とも皆様に満足いただけるよう、センター全体で取り組んで参ります。



「地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター定款案」が可決されました！

県では、当センターについて、質の高いサービスを効果的、安定的に提供していけるよう、経営形態の見直し(平成30年4月を目途に地方独立行政法人(以下「独法」といいます。)に移行)検討を進めてきましたが、県議会第341回通常会議において、目的や名称、業務の範囲等を定める定款案が可決されました。

独法は、予算の執行や事業の実施といった面で、より柔軟な対応を可能にする経営形態ですが、独法移行後も、県立病院・施設としての位置付けは変わりません。相談支援部門は県の機関として存続しますが、引き続き連携を密にし、心身に障害のある方々の生活の質の向上や地域生活への移行をお手伝いしていきます。



一般撮影装置が新しくなりました！

平成29年3月から、新しい一般撮影装置（富士フィルム社製BENEO-Fx）が稼働しました。高感度FPD（フラットパネルディテクター）とX線撮影装置を組み合わせたデジタルX線画像診断システムです。



FPDのここがすごい！

『高画質なのに体にやさしい』

最新の画像処理技術を取り入れました。撮影に使用するX線の量を有効に活用することで、今までより少ないX線量で画像が撮れるようになりました。特に、濃淡を幅広く表現することができるため、診えにくい部位（胸部撮影時の心臓や腹部撮影時の骨盤等）がきれいに診えるようになりました。



新しい機能を用いることで、少ない線量と高画質で“やさしい”そして、“診やすい”検査システムになったまる☆☆

トモシンセシスのここがすごい！

『任意の断層像を生成するトモシンセシス』

トモシンセシスは、1回の撮影で角度を変えながらX線を連続照射し、得られた複数の画像を再構成することで、任意の断層像を生成します。三次元的に画像情報が得られるため、今まで診えにくかった微細な骨折等の観察が容易になりました。

また、金属が体内にあると、金属の影響で周囲に偽の異常所見が現れますが、この影響を極力抑えることで、より診やすい断層像が生成可能となりました。



カルフルとちぎ 障害者文化祭に参加しました

駒生園では、身体機能の向上や生きがいづくりを目的に創作活動を実践しています。利用者の皆様が、その成果を障害者文化祭に出展しました。力作揃いです！



会場風景



駒生園展示ブース

出前講座の紹介 ～リハビリテーション部言語療法・臨床心理科～



液体が喉頭を通過して食道に流れる様子

医療や福祉の関係団体を対象に実施している出前講座の紹介も、今回で第3回目を迎えました。今回は、言語療法部門から「摂食嚥下機能」をテーマにした出前講座の内容を紹介します。

摂食嚥下機能とは、私たちの「食べる」という行為のことです。「食べる」と聞くと、単純な動作のように思われますが、いくつかの動作が複雑に絡み合って構成されています。食卓に座る・目で見て食べ物を認識する・箸やスプーンで口に運ぶ・口を開いて口に含むといった動作の後、嚥む・舌で食べ物を喉の奥に送る・飲み込むという段階を踏み、胃へと到達します。

講座では、食べるメカニズムが障害される「嚥下障害」の状態・予防、対処方法を紹介しました。病院等で実際に撮影されたレントゲン透視造影検査(VF検査)の映像(左写真)を使用して、食べ物が口の中や喉の奥をどのように通って胃に運ばれていくのかを御覧いただき、基本的な知識である食べるメカニズムを学びました。予防、対処方法としては、嚥下体操を参加者の皆さんに体験していただいたり、安全に食べるための食形態や食事の際の注意すべきポイントを紹介しました。参加者から、「どうすれば楽に薬が飲めるのか?」といった質問を受けた際は、市販のゼリーやトロミ剤の使用法を具体的に説明しました。

受講後のアンケートでは、「検査の映像を見て、どのように食べ物を食べているのかを初めて理解できた。」「食事前の口の運動等、明日から業務に生かせると思った。」といったお声をいただいております。私たちとしても、施設等で日々継続してリハビリテーションを行っていくことは重要であると考えており、実際に地域生活を支援される参加者の皆さんと連携を深める貴重な場ととらえています。ぜひ御活用いただき、多くの意見をいただきたく思います。

<福祉用具のあれこれ③ ～安全に食べるために～>

むせることが多くなってきた人のために、安全に食べるためのグッズを紹介します。



食べやすいスプーンの形状

①スプーン

むせにくいスプーンの特徴

- ①一口の量が少ない
- ②口唇で取込みやすい
- ③口の奥に食べ物を運ぶことができる



左図のパフェスプーンのような形状のものを使うと良いとされています。御自身で食べる場合も、介助される方が使う場合も使いやすいとのこと。ぜひお試しください。



市販のトロミ剤

②トロミ剤

水分でむせてしまう場合は、トロミ剤を使用すると飲み込みやすくなります。最近のトロミ剤は、液体が熱くても冷たくてもすぐに溶け、時間が経っても粘性の程度が変わりにくいです。上手にトロミをつけることで、安全に水分を摂取することができます。大きな薬局ではたくさんの種類のトロミ剤を揃えていることが多く、また、トロミ剤が入った飲料水やゼリー食等も販売されています。お困りの方は、一度お試しください、担当者に御相談ください。

医療安全管理 活動の紹介

とちぎリハビリテーションセンターを利用する方や、入所・入院している方々が、安心して医療を受けられるように活動しています。

今年度は、11月の医療安全推進週間に医療安全所内巡回を実施しました。また、年2回の医療安全に関わる全体研修を実施し、医療安全管理活動に努めています。(医療安全管理室)

医療安全所内巡回



小児用ベッドの安全対策について確認中



トレッドミルの安全な使用方法について検討中

トレッドミル：
歩行トレーニングシステム

医療安全研修 テーマ「チーム医療とはなんですか？」



チーム医療に必要なことを研修しました。



よく分かった！
これまでの疑問が解けました

インフォメーション

○平成29年度身体障害者巡回相談のお知らせ

身体障害に関する相談会を開催します。医学的な相談、補装具、身体障害者手帳、リハビリ等に関する相談を整形外科医、リハビリ専門職、保健師等が対応いたします。(要予約、先着5名程度)

参加を御希望の方は、お住まいの市町の障害福祉課にお申し込みください。

月 日	エリア	開催市	会場(施設名)	開催時間
7月5日(水)	県北	那須塩原市	黒磯保健センター	14:00
7月6日(木)	県東	芳賀町	芳賀町保健センター	~
8月3日(木)	県南	小山市	小山市保健・福祉センター	16:00

※平成29年度は9回(7~2月)開催予定。9月以降の日時は順次、栃木県HP等に掲載します。

※お住まいの市町以外で開催される巡回相談にも参加可能です。

※都合により日時が変更となる場合もございます。必ずお住まいの市町の障害福祉課にお申し込みの上、御参加ください。
(相談支援課)

(発行) とちぎリハビリテーションセンター
管理部総務企画課

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1

TEL 028-623-6101

FAX 028-623-6151

ホームページ <http://www.rhc.pref.tochigi.lg.jp/index.html/>



©本冊子はユニバーサルデザインフォントを使用しています。
※ユニバーサルデザインフォント…年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、さまざまな人が読みやすく、誤読されにくい書体です。